

感染状況・医療提供体制の分析(6月7日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月~日)の合計	前回の数値 (5月31日公表) 5月20日~5月26日	現在の数値 (6月7日公表) 5月27日~6月2日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	247人	229人	→	感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
	定点当たり数	2.94人	2.73人	→		
	報告数に占める60歳以上の割合	30.8%	29.7%	→	定点当たり患者報告数は 2.73人 とほぼ変わらず。RSウイルス感染症や手足口病、咽頭結膜熱は増加傾向で、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎も例年に比べ多い。 全国的にも岡山でも新型コロナ感染はやや増加傾向。5類移行し、1年が経過したが、今後も人流の多い時期は流行が予想され、夏にかけ今後増加すると予想される。体調不良時は人と会うのを控えるといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。 (医療機関への)入院は継続して見られており、増加している地域もある。 ハイリスク患者は早期診断・治療が必要。	
	岡山市保健所	1.50人	2.09人	↗		
	倉敷市保健所	3.88人	3.06人	↘		
	備前保健所	2.13人	1.13人	↘		
	備中保健所	2.33人	2.75人	↗		
	備北保健所	8.83人	8.33人	→		
真庭保健所	2.67人	2.67人	→			
美作保健所	3.10人	2.60人	↘			
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	10人	16人	↗		
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	0人	0人	→		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。